

議 会 だ よ り



仲良く楽しい雪遊び

(開設 30 周年を迎えた飛驒かわいスキー場)

補正予算・条例改正等	2
予算委員会 Q & A	3
区長会意見交換会報告	4・5
討論	5
常任委員会重点活動報告	6～8
今年 1 年の私の抱負	9
一般質問	10～15
市民の声・編集後記	16

■発行人／飛驒市議会議長 天木 幸男

緊急経済対策事業に1億2百万円 一般会計補正予算3億4千7百万円などを承認



屋根・壁面を改修する住宅

十二月定例会が、十二月三日から十九日まで開催され、三億四千六百万円余の本年度一般会計補正予算や条例改正など原案通り可決しました。議案の内訳は、予算関係五件、条例の制定・一部改正十六件、市道路線の廃止認定二件、その他五件など。又、さくら保育園の指定管理者に社会福祉法人飛驒古川を指定しました。

補正予算の主なもの

- 公用車の購入 百六十三万円
- 自立支援給付費・増加によるもの 六千六百六十万円
- 旧釜崎保育園舎の取壊し 九百万円
- 流葉温泉Mプラザなど観光施設の整備 八百五十万円
- 杉崎公園の遊具修繕 二百七十万円
- 克雪住宅整備や住宅リフォーム補助の追加 七千四百十万円

特別会計の補正予算

- 市道の新設や河川改修など緊急対策費 一億二百万円
- 宮川小学校教員住宅取壊し 三百四十万円
- 旧山田小学校プール取壊し 六百三十万円
- 国民健康保険・高額療養費など 六千四百八十二万円
- 公共下水道・基金積立金など 三千五百十四万円
- 特定環境保全公共下水道の消費税など 百八十四万円
- 情報施設会計の基金積立金など 三千百九十八万円

条例の制定と一部改正

- 行政区等設置条例の一部を改正する条例
- ・ 河合町月ヶ瀬区及び宮川町洞区の廃止と区名の変更
- 暴力団排除条例の一部を改正する条例
- ・ 暴力団員による不当な行為

の法律一部改正によるもの

- 指定地域密着型サービスの事業の人員等に関する条例

- ・ 介護保険法の一部改正に伴い条例によって定める事に

- 保育所条例の一部を改正する条例

- ・ 鮎ノ瀬・鷹狩保育園の廃止とさくら保育園の設置

- 教員住宅設置条例の一部を改正する条例

- ・ 老朽化した宮川小学校教員住宅を廃止するため



取壊しとなる宮川小学校教員住宅

- 公共下水道の構造の技術上の基準等に関する条例

- ・ 施設の基準等が条例によって定めることとなったため

- 一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格を定める条

例

- ・ 一般廃棄物処理施設に置く技術管理者の資格を定める

- 市道の構造の技術的基準を定める条例

- ・ 停車帯幅員や歩道幅員等の基準を実情に応じて定める

- 市道に設ける案内標識等の寸法を定める条例

- ・ ローマ字寸法を七〇%を基準とする

- 高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために特定道路等が満たすべき基準を定めた条例

- ・ 特定道路及び特定公園施設のバリアフリーに関する基準について定める

- 飛驒市が管理する準用河川に係る河川管理施設等の構造に関する条例

- ・ 準用河川の堤防の高さ等の基準について地域の実情に応じて定める

- 都市公園の一部を改正する条例

- ・ 都市公園における配置や規模・建築面積の割合について条例で定める

- 都市公園の一部を改正する条例

- ・ 都市公園における配置や規模・建築面積の割合について条例で定める

- 都市公園の一部を改正する条例

二十四年度補正予算 予算特別委員会 Q&A

総務部

Q 自主防災組織の予算が増えたが、その理由は。

A 22年、23年よりかなりの補正。自主防災組織が増えたことが要因。現在12地区から申請がある。

Q 公用車のリース終了後はこれからも購入の方針でいくのか。また、更新の用途は。

A 財政の状況による。購入の方が安くつくことがある。更新は20万キロ走行を目的にしている。

Q 自主防災組織で、準備する物の指針はあるのか。指針を提示することは考えていないのか。

A 指針は特にない。各地で必要な物を購入。現在は消火栓用のホースの購入が多い。

消防本部

Q 消防団活動で、訓練をコンクリートの上でしているが、器具の損傷が大きい。土上で出来る様な方針はないのか。

A 有事の訓練であり、あらゆる場所での対応が必要。特に指針はない。

Q 防災組織に要望があれば補助しているが、市の防災計画はあるのか。ヘルメットは防災組用か、被災者用か。

A ホースや消火栓用の備品などあてはまるものを補助している。

Q 消火栓用のホースは市で整備するものか、自主防災組織で整備するものか。

A ホースは地区の消火栓で使用するもの。自主防災組織で準備することになっている。

Q ホースは1本いくらくらいか。

A 規格等で様々であるが、2〜3万円程度。

市民福祉部

Q 透析バスを利用して古川と高山へ通院される透析患者の割合は。

A 高山は0。古川病院と市民病院に多数の方が通っている。

Q 市民病院が一杯で、富山に行っている透析患者がいると聞くがどうか。

A 正確な数値は把握していないが、透析を断られて富山の医療機関に通っているとは聞いていない。

Q ノロウイルスの感染予防対策は。情報発信や啓蒙は。

A 12月の広報及びHPに掲載。保育園等関係機関への指導も適切に行っている。

教育委員会

Q 遠征で食中毒が発生している。調理員への健康管理などの対応は。

A 月に2回の検便を行っている。冬は適宜ノロウイルス検査をしている。

Q 交流センターの入りに3mほど屋根のない箇所がある。ハートピアまでも屋根のない箇所がある。車いすの方も見える。対応できないか。

A 当初は屋根がある予定だった。現時点では工事費が大きい。ハートピアについても工事費が大きいので慎重に対応したい。

企画商工観光部

Q 就職ガイダンスの参加企業数・参加者数は。

A 毎年春と夏の2回実施。春は、大学4年生を対象として参加企業34社（市内内企業13社）、参加者91名。夏は、一般の方を対象として参加企業42社（市内内企業9社）、参加者135名。今回の補正予算は、特別に冬の企画として大学3年生を対象に開催する。

Q 離職率が高いため、あらゆる就職情報の発信を。

A 市のホームページに市内企業やハローワークから提供された求人情報を掲載している。また、飛騨City人財会議では春休みに高校2年生を対象に市内企業の見学会を実施している。「広報ひだ」では企業紹介を4月から実施。さらに新成人で希望する方、成人者の保護者に対しても求人情報の提供を開始する。

Q 住宅リフォーム事業の件数、経済効果は。

A 過去3年間の補助人数は14,222人、補助金額は4億9千2百万円余、工事金額は29億2千4百万円。

環境水道部

Q 粗大ごみのリユースについて、計画はあるか。

A 収集物には手間をかけず

市民の受け渡しがある場所で、日時を設定して行う機会を検討している。

Q 分別収集の推進により、各種団体が行う資源回収等の量はどうなっているか。

A 量は、年々減少傾向である。金額は、単価の変動により増減がある。

基盤整備部

Q 建物や橋梁の長寿命化と耐震工事の考え方は。

A 耐震は、地震に耐えられるように補強などを行うものであり、老朽化している物の寿命を延ばす工事が長寿命化である。

Q 橋梁の老朽化の調査とその対応は。

A 橋梁の長寿命化が必要なものは74橋あり、重要度が高いものから優先して進めている。1橋で1億円かかる場合もあり、各種補助事業を取り入れながら進める。

Q 1億円の補正工事の内容は。

A 土地改良、道路改修、河川改修など、市内の景気対策として年度内発注をめざす。

Q 金森町の郵便局跡地への移転は、どうなっているか。

A 県道拡幅工事のため、2軒の転居を予定している。

井上市長に政策要望書を提出

4町の区長会との意見を要望としてまとめる

雇用の確保と交流人口の拡大を 今後更に検討を進め政策提言へ

飛騨市議会広報広聴特別委

員会では、飛騨市議会基本条
例第7条に基づき、飛騨市の

四区長会(古川地区、河合地区、
宮川地区、神岡地区)との意
見交換会における広報広聴活

動を実施し、各行政区長を通
じた市民意見の把握に努めま
した。多くの意見の中から議
会として次の通り政策要望と
して取りまとめ、政策要望書
を井上市長に提出しました。

平成24年度飛騨市四区 長会との意見交換会を 踏まえての要望書

1.雇用の確保

著しく高齢化が進んでい
る飛騨市で、このまま若者
を中心とした人口流出が続
けば働き手となる生産人口
が減り、地域の活性化が失
われてしまう。若者をどう
やって飛騨地域にとどまら
せ呼び込むか、そのために
はまず働く場所、雇用の確
保が必要である。

以下の3点について対応

を要望します。

(1)地場産業の振興と地域振興
施策の充実

(2)地元企業への強力な支援

(3)工業団地化と企業誘致の検
討

2.交流人口の拡大

飛騨市の止まらない人口
減少と少子高齢化対策は、
待ったなしの課題である。
当市の活力とにぎわいを取
り戻すためにも「訪れてみ
たい」「滞在してみたい」
と言われるように、更なる
魅力を高め、交流人口の拡
大を図るべきである。

以下の2点について対応
を要望します。

(1)観光協会や経済団体等、各
種団体とより一層の連携を
図り、情報を共有すること。

(2)東海北陸自動車道や北陸新
幹線開通を視野に、交通イ
ンフラの整備促進を図るこ
と。



意見交換会での提案事項

広報広聴特別委員会として意
見を取りまとめる中で、専門
的に調査しなければならない
提案や研究しなければならない
事については、総務及び産
業両常任委員会に委ねること
にしました。両常任委員会に
委ねた事項は次の通り。



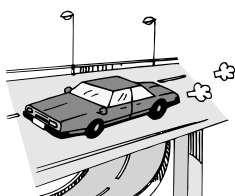
古川町区長会との意見交換会の様子

総務常任委員会の調査事項

- (1)高齢者の健康教室等サポー
ト事業の推進。
- ・地域公民館が自発的に実施
できるよう啓蒙を図る。
- (2)介護施設20床増床への支
援。

産業常任委員会の調査事項

- ・特養ベット20床増床により
ショートステイ20床の建設
が必要。建設資金、土地に
ついて市は全面的に支援す
べき。
- (3)各振興事務所の権限強化と
充実。
- ・振興事務所に権限を持たせ
られるような仕組みをつく
る。
- (1)高齢化対策としての生きが
いづくり。
- ・特産物の商品化で生産、出
荷、販売のシステムづくり。
- (2)工業団地化の検討と企業誘
致。
- ・働く場を確保するためにも
地元の企業支援を含め、企
業誘致を目指す。
- (3)河合スマートICへの交通
インフラ整備
- ・飛騨市唯一の高速道路とな
る河合スマートICを復活
させ、産業創出と活性化を
図る。



区長会との意見交換会

四地区の主な意見を紹介します

古川区長会

- ◎子供の誕生が少ないことから、男女の出会いの創出や出会いサポート事業を、委託ではなく、各種団体と連携して行政が主導する必要があるのではないか。
- ◎交流人口を増やすには、どう考えるか。
- ◎子育て支援として、乳幼児期のおむつや、粉ミルクの助成でもう1人産みたいと思える環境づくりを。



神岡町自治会連合会との意見交換の様子

神岡区長会

- ◎空き家、公共の施設を利用してグループホームの開設ができないか。
- ◎少子化と結婚問題として、出会いイベントを現在、社会福祉協議会に委託しているが、行政主導で各種団体も連携し支援できないか。
- ◎企業誘致について、撤退する企業があるが、守ることは出来なかつたのか。誘致の話どころではないが。
- ◎アークの土地の活用、買い上げ企業に貸し出すとか、地元企業を促進したらどうか。
- ◎募集をしても地元の人が応募してこない。大学に行つた人に情報提供をすればいいのではないか。
- ◎国道沿いの廃屋は、不潔なイメージがある。対策できないか。
- ◎たんぼぼ苑で増床した分、ショートステイをどうするかの問題がある。

河合区長会

- ◎働く場所が無くなり、若い人が帰って来ない。その結果、限界集落が増えている。
- ◎何としてでも、河合ICを復活し、産業振興に役立ててほしい。
- ◎積極的に若い人の意見を聴き交流してほしい。
- ◎まず働く場を確保してほしい。中でも河合町の人口の1割を占める「ねつとかわい」を支援してほしい。
- ◎廃屋が増えてきており、対策に力を注いでほしい。

宮川区長会

- ◎振興事務所の権限がなく、本庁がなんでも決める。振興事務所に権限を持たせられるような仕組みにしてほしい。
- ◎下水道や施設の使用料が高すぎる。過疎地への配慮がほしい。
- ◎合併調整と言って、何もかも市内同一にすることが必要か疑問を持つ。
- ◎種蔵地区は人が少なく草刈りでも大変苦労している。市から補助や支援がほしい。

討論

議案第1118号

指定管理者の指定について（飛騨市立さくら保育園）

反対討論

籠山 恵美子

指定管理者制度は、児童福祉法を骨抜きにして保育の公的責任を後退させている。審査する委員会では、民営化された保育園をべた褒めする意見や、公立ではできないことが民間ならできるという説明もあった。しかし民間にできて公立にできないことがあり得るのか。

公共料金は、合併したのだからと不均衡是正を理由に強力に統一するが、保育園は民営化によって、保育サービスの不均衡は正どころか、保育給食でも保育士の雇用でも、不均衡をさらに拡大している。

私は、保育行政の本質的な問題は民営化によって何ら解決はしないと考える。よって民営事業者を指定するこの議案に反対する。

賛成討論

後藤 和正

指定管理者制度に則り、民間能力を活用されるものであり、「社会福祉法人飛騨古川」は、この主旨を十分踏まえ、園児の安全安心はもとより多様化する保育ニーズに応えるために特色ある独自性を生かした保育サービス等、目的に沿った運営を計られている。また、実績のある団体で、評判が良く地域の信頼も厚く、保育に関しても効果的に目標を達成されるものと期待される。

飛騨市に保育監督責任があり、運営にも携わるので、現在1年間の引継期間を全て順調に運営されている。

この民営化、統合に対して、保育園整備計画審議会からの答申を受け、それ以来19回もの保護者、関係団体への説明会が行われており、十分な理解を得られていると察する。

保護者、学校、教育委員会連携して 取組むあらゆる研修、日常活動で 命の大切さを指導

小中学校の先生と意見交換

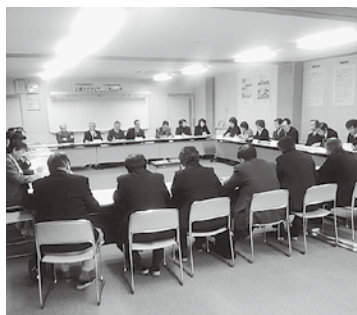
総務常任委員会重点活動報告

委員長 池田 寛一

「いじめ問題への取組み」

平成23年10月、滋賀県大津市の中学校において発生した、いじめが原因で生徒が自殺にまで追い込まれるという悲惨な事件は、警察が学校への家宅搜索に乗り出し、隠されていたものが次々と明らかになるなど、大きな社会問題へと発展しました。

総務常任委員会ではこの問題を重く受け止め、対岸の火事とせず、飛騨市のすべての小中学校の先生方との意見交換会を実施し、現状と課題についてどのような取り組みを行い、未然防止に努めているかを調査しました。



教職員との意見交換会

教育委員会では大津市の事件を受けて、いじめの実態把握及びいじめ問題への取り組みの徹底についての次のような指導方針を、再度各学校へ通知しています。

① いじめや人を傷つけることは人間として絶対許されないこと。いじめを許さない学校づくり。

② いじめはどの学校でもおこり得る問題であることを認識し、子供たちが発する危険信号を見逃さないこと。

③ いじめ問題の解決にあたっては組織やチームで教育委員会と連携して行うこと。

④ 学校のいじめへの対応方針を、家庭や地域に公表し理解を得るよう努めること。
また、実際にいじめが生じた場合には、関係者に対して正確な情報提供を行い、事実を隠ぺいすることなく、保護者や地域住民の信頼を確保するよう努めること。
これらの方針のもと、各学

校では人権といじめの実態把握、組織による取り組みの指導について職員研修を実施し、全職員にいじめへの指導のさらなる徹底が図られています。

飛騨市では小中学校指導における人権教育の重点を「いじめや差別を絶対に許さない学校・学級づくり、人間尊重の精神がふれる校風づくりに取り組みます」と明示し、



姿を聞き話を聞く目

各学校はこれを受けて、毎月の児童生徒理解研修を位置付け、人権教育の高揚、あるいはいじめの防止や早期発見に努めているということです。

また、生徒指導の重点を「発生意案には教育委員会と連携して、各主任を中心としたチームで指導に取り組み、迅速に対応するとともに、未然防止に努めます」として、いじめ等の発生意案に対しては各学校の教育委員会への速やか

な報告を義務付けています。

また、教育委員会から職員を派遣するなど、常に連携して対応にあたり、状況によっては保護者も含めての指導に取り組んでいるということです。さらには、いじめのない学校づくりのために、道徳・学級会をはじめ、朝の会や帰りの会の日常活動など、あらゆる機会を通して命の大切さについての意識を深める指導も重点的に実施しているとのことでありました。

意見交換会の前に古川小学校の授業を参観させていただきました。一クラスを三つに分け、能力に応じた授業を実践されており、このことも一つのいじめ対策につながるものと感じました。

この意見交換会で飛騨市におけるいじめ問題への対応は、しっかりとなされていることを確認しました。

各家庭においても学校まかせにするのではなく、あいさつや会話を大切にし、家族といっしょにご飯を食べ、常に子供の変化を見逃さないことが、何よりも大切なことであると感じました。

産業の振興と働く場の確保で 飛騨市の活性化推進を

企業訪問及び商工・観光団体と意見交換

産業常任委員会重点活動報告

委員長 内海 良 郎

◆はじめに

議会改選前の昨年度、飛騨市議会は議会の基本理念であるべき議会の果たすべき役割を定めた「議会基本条例」を制定し、議会改選後の今年度4月より本条例施行となりました。

政治・行政の究極の役割は「誰もが幸せになるため力を合わせる事」です。そのために条例で、議会は市民の意見を市政に反映させるため、政策提言を行うとともに政策立案に努めると定めました。

このことから、産業常任委員会は平成24年度の活動方針を決定するに当たり、飛騨市の今置かれている現状から当委員会として、市民に何が必要とされ何が役に立っているかを話し合いました。

そこで、飛騨市が抱える一番の課題である「人口の減少」は、年平均360人である状況は、出生と死亡の差である自然現象が半数で、あと

の半数は飛騨市からの転出による社会現象であることから、人口減少に歯止めをかけるべく「産業の振興と働く場の確保」を今年度の主なテーマとしながら、飛騨市の活性化に繋げていきます。

つぎに、そのための活動計画は①所管事業調査として所管部である企画商工観光部、環境水道部、農林部、基盤整備部の重点事項や課題などの調査②所管事業の現地状況調査③県外視察調査④地元企業訪問⑤商工・観光振興意見交換会⑥農業再生意見交換会⑦データセンター調査研究⑧T P P研修会等とし、これらの活動を通じて政策提言などにより市政に反映させていきます。

◆商工・観光振興意見交換会

7月19日に神岡商工会議所、古川町商工会、北飛騨商工会、飛騨City人材会議、(株)飛騨市観光協会、南古城旅館料理業組合、神岡旅館

組合、古川飲食店組合、数河高原観光協会、流葉観光開発協同組合の10団体22名の役員の皆様と当委員会の8名の委員にて意見交換会を実施しました。

初めての試みでもあり「意見交換会」と名を打ちましたが議会側は出席下さった方々のご意見をお聞きする事を主眼としました。そして皆様より沢山のご意見や要望をいただきました。その中の主なものは次の通りです。



意見交換会後手渡される要望書

◎市政全般

・高齢者など買い物弱者対策・特許申請や知財における

共同開発制度の拡充や税制優遇措置・資産の再認識と再発掘・限界集落対策・空家（廃屋）対策・空家利活用による転入者の受け入れ・20年位の市の施策を・地域振興ビジョンを・人材を育てる専門家の招聘・富山市との連携、商工業者との交流会・太陽光など補助金の創設・LED防犯灯補助金の創設・えごまの活用と情報発信・古川・神岡間のバス便の増発、最終便時刻の繰り下げ・巡回バス「ふれあい号」のルート及びダイヤの検証と見直し・JR高山線の最終列車坂上駅終点を猪谷駅終点へ など

◎商工業関係

・地元企業の受発注増に繋がるトップセールスを・環境トラブル改善設備投資に対する固定資産税の減免等による対策・プレミアム商品券の発行・店舗などのリフォーム補助金の創設・市職員賞与の一部を商品券支給で・農業公園「山之村牧場」再建支援・(株)ねっとかわい、(株)飛騨まんが王国の抜本的対策・大型店進出による商店の疲弊・市による就職ガイダンス など

◎企業誘致関係

・データセンター誘致推進
・東京大学宇宙線研究所「大型重力波望遠鏡」整備等研究基盤の強化推進・研究者用の宿泊施設等の整備 など

◎観光関係

・新たな景観計画・条例制定等総合的景観政策の策定・
・天然県立自然公園協議会をモデルに池ヶ原湿原と深洞湿原の協議会の設立を・天然峠道路の早期除雪・北陸新幹線開通に向けたバス路線の開設と増便・飛騨市ブランドの確立・着地型観光の取り組み・数河、流葉芝生グラウンドの整備促進と管理・流葉スキー場の冬季以外の活用・修学旅行やスポーツ合宿等の誘致・空家活用と田舎暮らし体験等による誘客 など

◎道路インフラ整備関係

・国道360号整備促進・
・国道41号異常気象時通行規制区間の早期解消並びに整備促進・中部縦貫自動車道丹生川ICから呂瀬地区を経てトンネルによる鼠餅地区經由、国道471号沿い平湯料金所までのルート決定・国道471号拡幅整備・市道跡津川線代

行事業早期完成・神岡縦貫免道路橋梁整備早期完成・河合スマートIC復活 など

その後、委員会開催においていただきました、これらの意見や要望に対して「委員会としての意見」を取りまとめ、その取りまとめ結果を今後の市政運営の参考としていただくよう井上市長に提出しました。

◆地元企業訪問

「産業の振興と働く場の確保」のためには地元企業の経営者にお会いして、海外へ移転する企業がある厳しい時代である中、何とか規模拡大をしていただけないか。また、取引先や関連会社などの企業誘致は出来ないか。そのために行政がお手伝いするとは何かなどを目的として7月27日、8月2日、10月11日の3日間にアルプス薬品工業(株)、(株)神岡衛生社、(株)神岡セラミックス、神岡部品工業(株)、(株)喜多村、田辺製薬吉城工場(株)、日本レヂボン(株)、(株)メカトロニクス(順不同)の8社を委員8名が訪問させていただきました。

はじめに、有り難く感謝することはご多用にも関わらず社長を筆頭に役員や担当責任者の方々まで、心から歓迎し接していただいた事です。そして、それにも増して嬉しく感じた事は、地元の社長さんのみならず他県から来ていただいている社長さんも、会社オンリーではなく心から飛騨市の役に立ちたいと思い実行して下さっていることが如実に感じとれました。本当に有り難いことです。



訪問先企業での意見交換

会社の概要説明の後、工場見学、最後に意見交換をさせていただきました。

その中で、雇用対策では、どの会社でも「優秀な地元の人材が欲しい」ということと

「採用に当たっては地元優先である」ということです。また、募集をしても市内からの応募(特に大学生)がなかったりするそうなので、市主催の就職ガイダンスの開催や市広報の活用について市に働きかけたいと思います。

また、多数聞かせていただきましたが、規模拡大や工場の老朽化に伴う新工場計画などを検討しておられる会社がある数社あることや、工場立地に関する諸課題など市として協力できることは市長へ働きかけると共に、工場団地については政策提言といたします。

◆結び

意見交換会や会社訪問は議会委員会として初めて実施しましたが、関係各位のご協力に感謝を申し上げます。

聞かせていただいたご意見や要望のすべてが市政に反映出来るとは思っていないかもしれませんが、議会活動として一歩づつ努力をしながら少しでも飛騨市民の役に立ち、必要とされるものを形にしたいと思っています。



12月定例会の提出議案等における各議員の賛否一覧

※これ以外の案件等は全会一致で可決等されています。

議員名 議案名等	前川 文博	中嶋 国則	田中 清安	洞口 和彦	野村 勝憲	後藤 和正	福田 武彦	菅沼 明彦	内海 良郎	森下 真次	高原 邦子	谷口充希子	天木 幸男	葛谷 寛徳	山下 博文	池田 寛一	籠山恵美子
議案第118号 指定管理者の指定について(飛騨市さくら保育園)	原案可決	15:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※○は賛成、×は反対

※議長は裁決に加わりません。但し可否同数の場合は議長裁決となります。

合併して10年を迎える飛騨市 今年一年の私の抱負

2013年



籠山恵美子議員
合併で学んだ経験
を未来の糧に

今年には合併10周年の年です。波乱に富んだ市政でしたが、私たちが経験したことは必ず未来の飛騨市に糧となるはず。「知」を力にがんばります。



池田 寛一議員
積極的な政策提言
を目指して

議会基本条例施行二年目となり、継続案件を含め、さらなる政策立案や提言ができる議会を目指し活動する。



山下 博文議員
節目の年に新たな
挑戦、更なる前進

飛騨市の財政は厳しく、今後好転するとは考えにくい。国民が選択した政権を注視しつつ、市民の健康安全を願い議員活動に邁進する。



葛谷 寛徳議員
一にも二にも雇用の
確保と人づくり

今年には景気回復に期待がもてる巳年。脱皮することにより、初心に帰って自立する飛騨市へ。新たな気持ちで取り組みたい。



天木 幸男議員
「人間性あふれる
政治」を

理想も哲学もないまま、単に行政技術だけでは現実が見えてこない。現実の中にきざしている潮の流れの変化を見過す事なく、常に改革に挑戦。



谷口充希子議員
「心」あらたに

お金のない時は知恵を出せという言葉があります。種をまき花を咲かせ実がなるように市民の方の知恵をお借りし、行動する一年にします。



高原 邦子議員
議員の正道を歩む

出る杭は打たれるが、出ない杭は腐る。確かに批判は静よりも動に向けられる。私は市政のために何度打たれようとする杭でありたいと思う。



森下 真次議員
元気な飛騨市を
とにかく元気の出る飛騨市に努力する。合併10年目を迎えるが、合併の傷を早く治し市の持つている力を存分に発揮できる環境づくりに頑張る。

とにかく元気の出る飛騨市に努力する。合併10年目を迎えるが、合併の傷を早く治し市の持つている力を存分に発揮できる環境づくりに頑張る。



内海 良郎議員
市民の役に立ち必
要とされる議会・
議員に

合併10年を迎える節目の今年には巳年。これまでのしがらみを脱皮して市民の誰もが幸せになるため力を合わせる議会議員となる体制をつくる。



菅沼 明彦議員
市民の声の実現に
全力で

市民の皆様に対し感謝し奉仕の心を忘れず幅広く市民の方の御意見、要望に耳を傾け、行政に反映できるよう精進致します。



福田 武彦議員
人と地域の絆が大
切

人口減少など、様々な課題が山積している中、4町のひととの絆を大切に、安全で安心して暮らせる飛騨市づくりの実現に向かって努力します。



後藤 和正議員
議会改革2年目を
迎えるに当たり

更なる議会機能の強化に取り組む、確かな政策立案に向け調査研究に励みます。暮らしの不安の払拭、「安心社会」の追求に努めてまいります。



野村 勝憲議員
今年も積極的に飛
騨市を県内外に売
り込みます

元気で誇れるふるさと実現の為、地域活性化と議会改革を推進。積極的に県内外に出掛け、新たな交流を創出し、多くの人や情報を運びたい。



洞口 和彦議員
市民が主役の行政
に

意見交換やふれあいの場を重ね、市民の皆さまのご意見、ご要望、夢を市政に反映させ、地域おこしや活性化につなげていきたいと思います。



田中 清安議員
合併10年、新たな
一歩に向けて

次代を担う子供達が夢と希望を持てる飛騨市づくりを進めるため、財政の健全化と将来に向けた健全な投資で元気な飛騨市づくりに努めます。



中嶋 国則議員
市民と行政の繋が
りを深める議員に

合併10年目を迎え飛騨市がひとつになれるよう頑張ります。「市長提案に対し、是非々の議会」「身近な議会」「活発な議会」をめざします。



前川 文博議員
活力ある住みやす
い街づくりを目指
します

若い世代が住みやすい飛騨市の実現に向け、雇用の安定、医療機関の更なる充実と、高齢者の方の介護施設の拡充について勉強していきます。

問 新年度予算編成と市長の政策は

答 税収は下回るが、諸施策をしつかり実践し地域経済に活力と元気をもたらす



山下 博文 議員

問 歯止めがかからない

人口減、進まない雇用確保と企業誘致など飛騨市がおかれている環境は大

問 飛騨市地域包括支援センターの事業展開について

答 住民に必要な介護・福祉サービスを提供する地域の中核機関として充実させる

問 高齢者が安心して住

み慣れた地域で暮らすことができるよう、地域を包括的に支援する機関である。①認知度・理解度について②成年後見人制度の役割について伺

問 心豊かな子どもたちの成長を願って

答 農業体験を全小中学校で実施。「命を育む活動」を目的とし、命を大切にすることを育成している

問 深刻ないじめ問題は飛騨市だけが例外とはいえない。心豊かな子

底し、選択と集中で責任ある行財政が運営できる予算とした。

②市税全体の歳入は前年度をかなり下回る。歳出は大きな事業がなく相当減額となる見込み。

③まちづくり協議会を中心に、着地型観光の推進。また、地元企業の活性化や農業振興計画の着実な実施などで、交流人口の拡大、若者定住の促進、地域経済の活力につなげる。

②この制度は判断能力が不十分な方を、財産や人権などを法律面や生活面で支援する制度。高齢者の増加とともに制度対象者の増加も見込まれるので、適切な対応のため制度の周知を図っていく。

◆谷澤市民福祉部長

答 ①当センターの業務について、市民の認知度が十分とは言えない。今年度から意識的に各種教室等でPRしている。

◆山本教育長

答 全小中学校で実施しているが、農業体験は「命を育む活動」という目的を根底に据え、内容や系統の見直しを図らせる。

問 飛騨市の総合計画と長期財政見通しについて

答 緊急性と必要性の高い事業に財源を集中、人口減少・少子化対策、産業を活性化



籠山 恵美子 議員

問 ①平成25年度はどの

ような新事業を予定しているか。②介護保険料の減免、介護支援手当の増額など、高齢者の生活支援はどのように。③生活困窮家庭が増えている。教育の機会均等の実践とそのための教育支援はどのように。

◆市長

答 ①三世代同居推進事業、再生可能エネルギー創出事業などの新事業により定住人口の増加につなげたい。

◆谷澤市民福祉部長

答 ②平成37年の後期高齢者数のピークを見据え、介護予防・在宅介護支援策が重要課題。新たな介護

る。③市は、奨学金の貸付事業を行っており、条件を満たす方には、必要な支援策を行っており、併せて地元就職者には、償還金の一部を助成するなどの支援策を講じている。

予防事業や地域全体での高齢者支援ネットワーク構築等を進め、制度の下で各種支援策を検討す

問 市は「障害福祉計画」の早期具体化で市民要望に添えてほしい

答 関係団体と連携し就労支援などにとりくみ、障害者の自立と社会参加をはかる

問 ①障害福祉計画は実

現の具体性と早さが求められる。第一期、二期の達成率はどうか。②第三期（H24～26）で計画している具体的な事業は何か。

◆市長

答 ①「飛騨市障がいのある人を支える会」と議会との意見交換会で、子どもをとりまく切実な問題提起があった。中でも社会的な居場所が求められている。この居場所づくりはまさに市が応えるべき課題である。市は支える会の要望をどう受け止めているのか、伺う。

◆市長

◆谷澤市民福祉部長



一般質問

問 山田生涯学習館の有効利活用について

答 各種団体や地元の意見を聞きながら検討していく



洞口 和彦 議員

問 地域交流の中心として利用されていた山田小学校、平成一七年三月、一三一年の歴史に幕を下し山田生涯学習館として生まれ変わりました。し

かし現在旧校舎は有効に利用されていません。地域の要望を聞き、再利用して有効な利活用の促進を図り地域の活性化に役立ててほしい。

①現在の利用現状は
②有効利活用対策と環境整備状況は
③建物の無償提供の展望は

問 所有権移転登記手続請求訴訟事件の控訴棄却について

答 結果は残念だが、ニコイの自然を守るための当然の努力。誤りはない

問 市が名古屋高裁に控訴していた裁判。市の四件の主張が全て認められず、棄却判決を受け残念な結果となりました。

②判決に対する考え方について
③敗訴における責任の在り方について

市長の考え方を問う。

◆市長

①ニコイ高原土地売買に関する契約書について
イ、販売したくないのになぜ契約を結んだのか
ロ、横井秀和氏の人物像
ハ、裁判前の話し合いはどのように行われたのか

答 ①イ、ニコイの土地が競売にかかるため、横井氏から依頼され、保全管理の意味で契約したものの、ロ、横井氏は（株）秀和の代表。かつて秀和の開発予定地の保安林解除が不履行となったため、

◆藤井教育委員会事務局長

答 ①旧東小や旧古川町図書館にあった民俗資料を保管している。

②民族資料の保管場所として利活用している。当学習館は耐震性能が劣るため、今後の利用目的を検討し方針を決めたい。

③多くの団体の利用が考えられる。ＹＹキッズ倶楽部や飛騨市障害のある人を支える会そのひとつ。今後は地元の見聞きながら検討したい。



宮川村を告訴した人物である。ハ、担当との話し合いにとどまっている。

②残念だがやむを得ない。

③ニコイの自然を守り次世代に引き継ぐために当然の努力をしてきたと思うている。結果は残念だが議会の議決を得ての提訴であり、手続きに誤りはない。

問 廃屋対策条例施行に伴う課題について

答 条例でねばり強く問題解決に取り組むが、他の自治体の取り組みも研究したい



池田 寛一 議員

問 市では現在、廃屋対策条例に基づき所有者との交渉を進めながら、危険物件の撤去に努められていると思うが、現実

容易ではないものと推察している。交渉にあたつての問題点や課題については、どのようなものがあるか。条例施行からやがて二年が経とうとしていいる。代執行等の条例改正も視野に入れて、取り組む必要はないか伺う。

◆小倉総務部長

問 保育行政の課題について

答 各町に一つの公立保育園を置き自由に選択できる体制を整備する方針である

問 全国的な保育園民営化の流れのなかで、飛騨市においては合併前の旧町村に、それぞれ一つの公立保育園を置くという運営方針となつているが、改めてその理由を伺う。

二園となる。施設修繕費の補助のあり方等、元々民間経営の双葉保育園の扱いをどう考えているか。

◆谷澤市民福祉部長

また、公立保育園の正職員と臨時職員との格差等も課題と考える。今後とも直営と公設民営の、両建てでの運営方針に変更はないか伺う。また、指定管理による公設民営は

新たな保育サービスを提供するが、公立保育園を希望される保護者もみえることから、自由に選択できる体制とするものである。また運営方針を変更する予定はない。

答 交渉での問題は多額な解体撤去費用や、地域と関わりのない方の理解が得られず苦慮している。

当面は、条例に基づきねばり強く問題解決に取り組んでいくが、最終的には所有者のモラルに頼らざるを得ないため、他の自治体の取り組みなどから、より効果的な対策を研究してまいりたい。



H24 河合・宮川保育園合同運動会

問 一般会計にも複式簿記を

答 会計年度独立の原則から無理だが、財務諸表を公開する



高原 邦子 議員

問 地方公営企業会計制度の見直しに対応する準備工程は充分であるのか？地財法に非適用の公

共下水道と簡易水道事業を任意適用にする考えは？現金主義より発生主義をとる複式簿記は眞の財務内容が反映されるが、採用する考えは？

◆小倉総務部長

答 新システムの導入は遅くとも平成25年9月頃

問 消費者教育推進法への対応は

答 生活相談センター、教育委員会と連携し啓発推進を図る

問 消費者教育推進法が可決、公布された。生産・流通の急速にして高度な発展に対して、消費者が生活の価値を守り、生活の質を向上させるため

には、消費者教育の意義と必要性は広く認められる。市の対応と学校現場での取り組みは？

◆山本教育長

◆小倉総務部長

問 今後も議決後に市民に説明する手法なのか

答 料金改定等に関する事項は、方針が確定した後丁寧に市民説明していく手法が妥当と考える

問 九月議会での答弁の確認をする。①普通財産と説明した東校跡地は行政財産では？②値上げ条例案審議で答弁した民間

駐車場との格差で消雪装置のある民間駐車場は何か所あったのか？

◆飯島基盤整備部長

◆白川副市長

と考え、準備を進めている。

簡易水道事業は平成28年度をめどに上水道との統合を予定し、水道事業として経営。公共下水事業は法適用事業とする考えはないが、常に経営意識を持つよう努める。

一般会計については、会計年度独立の原則から複式簿記の導入は無理だが、財務諸表を公表する。

答 国・県の動向を踏まえ生活相談センターや教育委員会と連携しながら啓発と推進を図っていく。

小学校は家庭科、中学校は社会科・家庭科の授業で取り組んでいる。さらなる充実に努めたい。

答 ①行政財産の目的外使用であり、長期継続的に目的外使用させることは好ましくない。現契約が満了する来年4月以降は目的外使用させない。

②民間アパート13物件中、1件もなかった。

問 レールマウンテンバイクの今後について

答 引き続き観光商品として売出し、周辺観光施設への誘導を図る



前川 文博 議員

問 ①乗車人数2万人突破。国内外からの来客があり、日本鉄道賞を受賞して全国的に話題になっているが、飛騨市として今後の方針は？②市内における経済効果はどれくらいか？③着地型観光の現在までの実施件数や予

算の消化率は？④現在車庫にある気動車を、旧奥飛騨温泉口駅へ移動し、展示するなどして、レールパークとして充実させるなど、新しい展開を考えることはできないか？

◆沖村企画商工観光部長

◆市長

答 ①引き続き観光商品として売りだし、周辺の観光施設への誘導や着地型観光の推進を図り、如何に宿泊していただける

現在までの実施件数や予

問 議案第131号平成24年度飛騨市一般会計補正予算について

答 古川中学校部活バス廃車に対応し、移動に必要なバス運行を委託する

問 部活動専用バス廃車にともないバス業者に委託する制度「部活動等の移動に必要なバス運行委託制度を新設」とあるが、

①現状と今後のバス運行方針についての考えは？②各学校や団体が年間に利用する回数と大会や遠征の回数はどれくらいなのか？③フリーバスと委託運行バスと金額を比較した場合、利用者負担に違いがあるのか？

◆藤井教育委員会事務局長

答 ①23年度実績で廃止する古中部活バスは69回、フリーバスは36回利用。内重複ケースは17回。

新制度のバスは5万8千円になる予定である。

か、企画する旅行業者と受け入れ側の宿泊業者・観光事業者などのコラボレーションの場としてまちづくり協議会などを通じて連携した取り組みにつなげたい。②お昼時間をはさむ場合は、食歩きマップなどでお店を紹介しており、休日は地元商店もかなり賑わっていると聞いている。③利用実績は、5企画、利用人数94名、補助金19万円で予算額の12％程度となっている。④奥飛騨温泉口駅周辺を整備する上で、列車の展示など希望があれば、相談に乗ってきたい。

一般質問

問 65歳までの雇用義務化の影響について

答 企業への影響はさほどないが、若年層に対する雇用対策を行っていく



後藤 和正 議員

問 企業に従業員の希望者全員を、65歳まで雇用することを完全に義務付ける改正高年齢者雇用安定法が成立した。

来年4月から厚生年金の受給開始年齢が引き上げられるのに伴い、定年後に年金も給料も貰えない期間が出る人をなくす狙いである。

問 そのため来春以降は継続雇用希望者が増えると考えられるが、市内企業において負担増とならないか。

また、若年層の採用数が縮減されるなど学生への就職活動への影響はないか。

◆ 沖村企画商工観光部長
答 市内企業に確認した限りでは、既に再雇用制

度や定年延長による継続雇用が実施されている。

このため、雇用義務化での企業の影響は現時点ではさほどない。

現状の若年層に対する雇用対策として、企業向け、就職者向けに平成23年から奨励金制度、ウエルカムUターン補助、市のホームページに就職情報を掲載、就職ガイド

問 就学援助制度について

答 飛騨市学齢児童生徒就学奨励金給与規則により、必要な援助を行っている

問 飛騨市の就学援助給付の対象範囲は、全国レベルからすると狭くないか。

過去5年間で援助費は倍増しているが、増加傾向は更に続くと思われる。就学援助制度について現状と見通しを伺う。

◆ 山本教育長
答 文科省の認定要領に基づき市の規則によって認



企業人事担当者による模擬面接
(吉城高等学校に於いて)

ンス説明会を高山市と合同で実施。また、今年度の成人者から就職情報等を提供予定しており、採用数が減少しないよう対応する。

問 第二次政策総点検の役割と成果について

答 市政運営が市民の望む政策と乖離することなく、より市民本位の市政に近付けていく



福田 武彦 議員

問 市民の目線からみて、どのような役割や価値があるか。市民会議委

問 高齢者の生活（買物弱者）の支援について

答 地域の状況に応じた支援策を検討する必要がある。

問 過疎化の拡大により小規模な集落で移動手段がない高齢者を中心とする買物弱者が増えている。そこで事業者と地域

ボランティアの協力を得ながら本庁や各振興事務所が窓口となり「御用聞き」をするようなシステムを考えたかどうか。

問 障がい者雇用の促進について

答 特別支援学校開校を障がい福祉向上の機会と捉え、各事業の推進に取り組む

問 来年4月に飛騨吉城特別支援学校が開校する。障がい者福祉で重要な事は卒業後、適性な雇

いの者雇用の義務付けが強化されるが今後の就労支援は

用場に就き自立した生活を送る事である。来年度より企業に対する障が

◆ 谷澤市民福祉部
答 障がい者雇用に対する理解が進んでいない状況ではあるが、開校に

答 政策総点検は、市民の声を拾う手法の一つ。市政運営をより市民本位に近付けていくことが目的であり、そこに価値がある。市民会議には重要な83事業を点検評価してもらい、市政運営の方向性とさせていたいただいた。

◆ 谷澤市民福祉部長
答 地域住民の生活実態を把握し、市としての課題を関係者で共有した上で具体的な支援策を模索することが、地域の状況に応じた解決策につながると考える。

に伴い、作業訓練、企業訓練への協力をお願いしていく。来年度、障がい者を受け入れた事業主に対し、奨励金を交付する要綱を制定し、受け入れ促進を図る施策を計画。また、特別支援学校、ハローワークと連携し支援をしていく。

問 小型除雪機の貸与について

答 来年度からモデル的に試行したい



菅沼 明彦 議員

問 小型除雪機を町内に貸与して「地域と協働」で除排雪作業のモデル地区を。

① 消雪施設の計画は。

問 LEDの地域防犯灯助成について

答 助成制度の新設に向け検討したい

問 LED防犯灯設置助成を

◆ 小倉総務部長

答 各区（自治会）のLED化へのニーズは、長

問 ペレットストーブ、薪ストーブへの補助について

答 平成25年度の補助制度創設を検討中

問 ①ペレットストーブ、薪ストーブの導入助成を。②市役所玄関ロビーにペレットストーブを。

③ペレットストーブを学校に設置を。

◆ 石腰農林部長

◆ 藤井教育委員会事務局長

局長

② 行政区などへ小型除雪機を貸与するシステムを。

◆ 飯島基盤整備部長

答 ① 現在稼働している

散水消雪の水源が非常に厳しく新規の整備は慎重に検討せざるを得ない。

② 来年度モデル的に試行したい。

安価になったことなど導入しやすい環境が整ったことを踏まえ、助成制度の新設に向け、検討を進めるように市長から指示を受けている。



25年度の補助制度創設を検討している。

② 庁舎玄関ロビーへの設置については、排煙工事、設置後の維持管理など多くの課題があるため困難と考える。

③ 学校施設については、大規模改修や新築などの整備が完了したばかりであり、再改修は難しい。

問 ニコイ高原売買契約の効力は

答 当事者間のみ効力が発生する



森下 真次 議員

問 ①平成14年7月5日に締結した宮川村と横井氏との契約効力はどこまで及ぶのか。

②市は、境界の明確化と

問 肺炎球菌ワクチン接種に助成を

答 助成事業の実施について現在検討している

問 このワクチンを接種することにより5年間は有効である。1回の接種料は6千円〜8千円程度だが、健康な高齢者を過

こせるようワクチン接種

問 消防団員の確保

答 各機関に消防団活動の理解と入団協力を願う

問 地域に欠くことのできない消防団であるが、団員確保に次の提案をするがいかがか。

①団員優遇制度の創設

②国が行う消防活動協力

確実な面積によるものが絶対の条件と考えるが市の基本姿勢は。

◆ 市長

答 ① 当事者間のみ効力が発生。第三者には及ばない。

② 市の用地買収は、基本は実測で行っている。

土地境界を明確化することが、公有財産の管理上必要と考える。

め、高齢者の健康管理には肺炎予防が大切。平成25年度から高齢者の肺炎球菌ワクチン助成事業の実施について検討している。

見守る必要がある。

② 被雇用者団員が84%を占め、消防団員を雇用している事業所も多いことから、消防団協力事業所表示制度の設立に向けて検討する。



消防団による消火出動訓練

一般質問

問 学力向上について

答 指導方法の改善、児童生徒が継続することによる成就感と自己存在感を育て、学力の基盤づくりを目指す



谷口 充希子 議員

問 大分県豊後高田市を視察した。「学びの21世紀塾」という施策で、官と民協同で学力向上に成功した市です。市の更なる学力向上を目指し次の4点について尋ねる。①豊後高田市視察の感想を教育長に伺う。②教育免許を有する方にボランティアとして学力向上の手伝いをお願いしては？③「全国学力学習状況調査」結果の公表を伺う。④教職員の資質向上のための視察研修はどのようにされているか。

◆ 山本教育長

答 ①コミュニケーションスキルとしての確立がなされ、学力向上に結びついている。

② 飛騨市も「学校支援者

公表するように指導している。

県の順位はわかるが、市の順位はわからない。

活用事業」や「運動部活動等外部指導者活用促進事業」としての人材活用により学習支援の充実に努めている。

③ 順位ではなく内容の結果を重視し、学校としての実態をわかりやすく

問 健康寿命と対策について

答 健康の自己啓発と、生活習慣予防が大切

問 日常生活に影響のない健康状態をいい、その対策は。①飛騨市の健康寿命を調査し目標指針を策定されてはどうか。②ラジオ体操を同報無線で流し、健康の自覚啓蒙を。③21世紀最大の課題である認知症の予防対策はどう進めるか。

◆ 谷澤市民福祉部長

答 ①市独自の調査等は精度上難しいが、「健康飛騨市21」の見直しを行っており、その中で指針について示していきたい。

② 現在、同報無線で流す事は考えていないが、運動の機会を作ること大切である。生涯学習課と連携し進めたい。

③ 認知症の予防対策は、若いうちからの生活習慣病予防が基本。また、早期対応が重要であり、認知症になっても安心して生活できる地域づくりのために認知症を正しく学ぶ機会を増やし、地域包括ネットワークの構築について関係者・団体等と連携して進めたい。

訂正のお詫び

35号11ページ一般質問、「問 改正郵政民営化法が及ぼす地方への影響について」本文中「郵便事業株式会社と郵便局株式会社を合併し、日本郵便株式会社が発足する。」が正しいところ「郵便事業株式会社が発足する。」と誤って表記しておりました。ここに訂正してお詫びいたします。

議会の傍聴にお越しく下さい

3月定例会の予定

- 2月25日(月) 本会議(開会、提案説明)
- 3月 5日(火) 本会議(一般質問1日目)
- 6日(水) 本会議(一般質問2日目)
- 7日(木) 本会議(一般質問3日目)
- 11日(月) 予算特別委員会(補正)、本会議(補正予算)
- 12日(火) 常任委員会
- 13日(水) 予算特別委員会(1日目)
- 14日(木) 予算特別委員会(2日目)
- 19日(火) 予算特別委員会(3日目)
- 21日(木) 本会議(委員長報告、質疑、討論、採決、閉会)

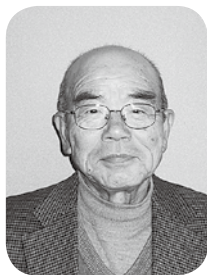
※日程は変更される場合があります。



佐藤 早苗さん

見守りたい

古西見守り隊に入って四年。ほとんど登校の見守りで一緒に歩いて行くのですが、子供達とも仲良くなれて、いろいろ話しかけてくれる子もあり、可愛いし、楽しくなっています。朝起きると一緒に行くのが楽しみになっています。朝の子供の様子から、



大下 利道さん

地域社会のつながり・絆

昨年七月七日、高齢者からも是非にと、振興事務所長の要請を受けて池ヶ原湿原のヨシ刈りボランティアに参加させてもらった。草刈機を肩に、弁当持参での参加だった。

ところが驚いたことに古川町河合町を始め、遠く神岡町か

いろいろ読み取ることも私の生きるパワーにもなっています。目的は、あくまでも子供達の安全・安心な登下校で、特に元氣な挨拶を交わし合える見守り隊でありたいと考えます。市においては行政を担うために特別に選ばれた議員の方々を、一市民として目をそらさず、しっかりと見守っていききたいと思っています。

古川町 佐藤 早苗

市民の声

私も同じような装いで大勢参加して下さっている。市議会議員や市職員・観光協会の役員さん方だという。

「ああ、地元宮川町よりもこんなに大勢の方々が…」と思うと何かしら目頭が熱くなった。

このことは、「飛騨市は一つ」との思いからの支援・協力であり、飛騨市のつながり・絆を感じさせていただいた。

宮川町 大下 利道



水川 治一さん

一つ心を胸に

全共で明け暮れた平成二十四年でした。飛騨市や議会、また、多くの方々から応援していただき本当にありがとうございました。目標の日本一には届きませんでしたが、



田中 智枝さん

神岡に住んで

縁あって神岡に嫁いで5年になります。当初は、未知の生活に不安もありましたが、皆さん温かく迎え入れてくれました。出会いにも恵まれ、周りの方達に感謝しています。

飛騨牛としての確かな手ごたえは感じてきました。また、高山を出発してから長崎にいる間、トラック四台とラッピングバス二台で飛騨と岐阜県を十分にアピールできました。飛騨市は牛だけでなく、高冷地野菜のトマトやホウレン草等、飛騨のブランドとして通っており、有難く思います。すでに五年後の宮城全共に向けて挑戦が始まっています。何かの形でまた飛騨市に貢献できたらと考えています。

河合町 水川 治一

飛騨には、幅広い年齢層の方が町の未来を真剣に考え、活性化しようと一生懸命な人が多いように感じます。神岡も人を集める要素が多くあると思うのでイベント以外でも、日常が活気に満ちた町であって欲しいと願っています。

また、この「議会だより」も誰もが興味を持てるよう、子供が見ても理解できる、わかりやすい内容だと更に町に関心を持つ人が増えるのではないのでしょうか。

神岡町 田中 智枝

編集後記

私は昨年「議会改革とまちづくり」をテーマに、県内15市県外7市を訪問。8月葛谷・洞口議員と小浜データセンターを視察。小浜市はデータセンターの誘致により、交流人口が増え、新しい企業が進出する等相乗効果が出て、市全体にいい影響を与えている。

10月飛騨市まちづくり協議会で語られた夕張市の鈴木市長（31歳）は、就任一年で公約の企業誘致を、東京と千歳から成功させ、12月に横浜から3社目が決定。5年前、藤倉市長（現市議）にお会いし、92%が林野で財政破たんした夕張に企業誘致は困難と思っていただけに驚きでした。

民間企業は行政の本気度を測って投資行動を起こす。従って行政は具体的な行程表と何としても実行するという強い意志と体制を示す必要がある。

この2市から、地域住民の温かさと地域特性を如何に売り込むかが、企業誘致の決め手だと改めて感じました。

（野村 勝憲）